

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

早田ブリ祭り開催 —3/16(土)尾鷲市早田町—



3月16日(土)、尾鷲市早田町コミュニティセンター・魚市場にて、「早田ブリ祭り」が開催された。本イベントは住民や同町の漁業会社「早田大敷」など漁業関係者でつくる「早田ブリまつり実行委員会」の主催で行われ、地元特産の天然ブリをPRし地域の活性化をすることを目的として今年が6回目の開催となった。当日、会場ではブリの刺身や大敷汁が振る舞われ、来場者は旬の新鮮なブリの味を楽しんだ。また魚市場では鮮魚の販売も行われ買い求める客で長蛇の列ができるなど賑わいを見せ、大盛況の内に閉幕となった。



鮮魚を買い求める来場者



会場では多数の物販も行われ賑わいを見せた

FOODEX JAPAN2019 出展 —3/5(火)～8(金)幕張メッセ(千葉)—

アジア最大級の食品・飲料専門展示会である FOODEX JAPAN2019 が幕張メッセ(千葉県千葉市)で3/5～3/8の4日間に渡り開催された。本展示会は世界各国のバイヤーが訪れることから国内外の食品関連企業等が出展し、世界各国の企業と商談ができ、販路獲得に繋がる絶好の機会として、今回で44回目の開催となる。本会の当イベントへの出展は初で、三重県産の青さのりと近年安定的に生産されるようになった養殖マハタを中心にPRを行った。来場者は4日間で8万人にのぼり、本会ブースにも多くのバイヤーが来場し三重県産水産物のPRの場となった。



本会出展のブース（上）

提供された試食（マハタの刺身、あおさ汁）（下）

**漁業・養殖業、漁場環境保全研修会
—3/19 大手町カンファレンスセンター**

3/19（火）、大手町カンファレンスセンター（東京都千代田区）で 2018 年度漁場・養殖業、漁場環境保全研修会が開催され、各県漁連、水産関係団体等から約 30 名が参加した。本研修会は全国漁場環境保全対策協議会および全国漁連海面魚類養殖業対策協議会の主催で漁場環境の保全と安全な食品の生産・供給等について啓発・普及を目的に 30 年以上にわたり続けられている。講演では漁場環境保全および養殖関連の現状と平成 31 年度予算の概要について説明の他、環境面で近年注目されている再エネ海域利用法の概要、プラスチック資源循環

問題についての説明も行われ、質疑応答では多数の意見交換が行われた。

**漁船リース事業説明会
—3/20 水産会館—**

3/20(水)水産会館において漁船リース事業説明会を開催し、県内の漁協、水産関係団体、県市町の担当者ら約 50 名が参加した。

漁船リース事業は地域の浜を担う中核的漁業者の収益向上を目的に（一社）三重県漁船リース事業協会が漁船を購入しリース方式で漁業者に対して漁船の貸与を行う。本事業では漁船の取得額の 2 分の 1 以内が国から助成される。出席者は事業の概要や申請条件、申請スケジュールなどについての説明を熱心に聞き、疑問点を解決すべく質問する姿が見られた。

なお事業についてのお問い合わせは所属の漁業協同組合までお願いします。



【主な予定】

○3 月 30 日（土）

・ 第 6 回汐青さのり入札会（松阪）